

## 次号予告

### 特集 危機管理と対策

リスク・マネジメントの概念と実務

ーリスクを正しく理解して適切な対策をー

……市川 彰 (富士短期大学)

阪神大震災に学ぶー東京都の震災対策ー

……和田正幸 (東京都)

大規模災害リスクへの対応

……井口武雄 (三井海上火災)

災害の現場から

……小笠原暁 (芦屋大学)

情報通信ネットワーク危機管理

……石川 宏 (NTT)

### 入門講座

やさしい待ち行列(4)……高橋幸雄 (東京工業大学)

## オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長	逆瀬川浩孝	早稲田大学
副委員長	山上 伸	東京ガス㈱
	山下勝比拓	㈱東芝
委員	伊藤 裕康	㈱富士通研究所
	上野 信行	住友金属工業㈱
	葛山 康典	早稲田大学
	國澤 直樹	東京電力㈱
	栗田 治	慶応義塾大学
	佐賀井重雄	㈱電力中央研究所
	高橋 真吾	東京工業大学
	高橋 敬隆	日本電信電話㈱
	中里 宗敬	青山学院大学
	西尾チヅル	筑波大学
	服部 正太	㈱構造計画研究所
	水野 眞治	統計数理研究所
	矢島 安敏	東京工業大学

**編集後記**●最近のDOS/Vをはじめとするコンピュータ雑誌には付録としてCD-ROMがついているものが多くみられるようになった。CD-ROMが非常に安価に作れるようになったのがその理由であるという。雑誌の内容に応じたプログラムや、音声・画像のデータが記録され、パソコンのCD-ROMドライブで読み出せるといった仕組みである。筆者の幼年期、当時の雑誌の付録に、ビニールでできたソノシートというレコードがついていたことを思い出した。時代とともに提供されるデータの量が飛躍的に増加したこの良い例であると思われる。インターネットを通じて送られてくるメイリングリストからの電子メールやWWWとさまざまなツールから得られた膨大なデータをどう利用するかについての議論は従来から多くみられる●一方で、情報の発信あるいは提供についてはどうであろうか。大学で、

WWWのホームページを個人的に公開している学生も少なくない。情報を入手するばかりでなく、比較的簡単に、自ら情報を作り出し、発信することができるようになったわけである。暗号やネットワークへの不正進入に対する議論や対策は行なわれているものの、情報の中身に対する倫理教育・研究が必ずしも十分整っているという状況ではない。しかし、その機運は高まりつつあるようである。たとえば電子情報通信学会では「21世紀における情報通信とその倫理」と題したパネル討論が企画され、情報通信倫理研究会が構成されてもいる●インターネットが商用化した今日、道具の利用方法や、可能性を強調するばかりでなく、その裏側に隠れている落とし穴についても、十分な教育と研究を行なう必要があると思われる。(葛山康典)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

## オペレーションズ・リサーチ

平成8年1月号 第41巻 第1号 通巻421号

代表者 村井 勉

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113

編集人 逆瀬川 浩孝

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

### ●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 950円 (本体922円, 郵送料含) 年間予約購読料10,800円 (税・郵送料含)

●本誌への広告お申し込みは明報社 (3546-1337)、日経弘報社 (3563-2241) へ